

プラネタリウム三代記

2011年
6月18日(土)～7月28日(木)
1F 寄贈品コーナー展示

いままでのプラネタリウムの姿とは大きく変わった新投影機「PANDORA」。驚かれた方も多いでしょう。

南北に分割されていた恒星球がひとつになり、惑星棚は別配置になりました。初代投影機「GX10-T」、二代目「G1014」、そして三代目「PANDORA」と、平塚市博物館の三代にわたるプラネタリウム投影機の変遷を追い、新しいプラネタリウムの形が求めたものを解説します。



上：GX10-T (初代)

左：G1014 (二代目)



左：PANDORA (三代目)

